

生活保護費の追加給付に係る申出書 提出先及び記入方法

■申出受付期間 令和 8 年 8 月 3 日（月曜日）から令和 9 年 7 月 30 日（金曜日）

※但し、郵送での提出は令和 9 年 7 月 31 日消印有効

■申出書の提出方法 窓口持参または郵送

■申出書受付窓口（申出書を持参される場合）

宇城市福祉事務所（宇城市役所 1 階 社会福祉課生活保護係追加給付窓口）

受付時間：午前 9 時 00 分～午後 4 時 00 分まで

電話番号：0964-32-1387

※電話ではご本人確認ができないため、「追加給付の対象となるか」、「受給期間を知りたい」といった個人情報に係る質問にはお答えできません。

※追加給付額については、申出をいただいたあと、個別に計算し、通知書でお知らせしますので、電話での回答はできません。

■申出書等の郵送先

〒869-0592 熊本市宇城市松橋町大野 8 5 番地 宇城市福祉事務所 追加給付窓口 宛

■支給方法

申出書類を受付後、順次審査を行います。

審査の結果、支給対象であった場合は、申出書記載の振込先口座へ振込みます。

支給額、支給日等は、審査完了後にお送りする支給決定通知書にてご確認ください。

なお、審査の結果、支給対象外であった場合は、不支給決定通知書をお送りします。

■注意点

追加給付額は、当時の年齢、世帯人数、保護を受給していた時期や期間、加算の有無などによって異なります。生活保護の受給期間が短い世帯や、平成 30 年 10 月以降に生活保護を受給し始めた世帯では、追加給付額が 0 円～数百円程度になる場合があります。そのため、ご自身が負担される申出にかかる諸費用よりも少ない追加給付額となる場合があります。

- ・追加給付額が証明書の発行手数料を下回る場合であっても、本市が発行手数料を払い戻すことはできません。
- ・受付開始前にご自身の判断で取得された書類についても、同様に払い戻しはできません。
- ・提出いただいた書類はお返ししませんのでご了承ください。

申出書記入方法

申出書は黒のボールペンで”はっきり”と記入してください。鉛筆や消せるタイプのボールペンでは記入しないでください。

「1.世帯構成の記入方法」

平成 25 年生活扶助基準改定に関する最高裁判決を踏まえた 保護費の追加給付に係る申出書

宇城市福祉事務所長 様

申出年月日 年 月 日
現住所 〒 宇城市
氏名
電話番号

申出の年月日、氏名、現住所、電話番号を記入してください。

平成 25 年 8 月から令和 8 年 3 月までの期間について、下記のとおり、相違ないため、追加給付に係る必要書類を添えて申し出ます。

記

1. 世帯構成 (平成 25 年 8 月から令和 8 年 3 月までの期間において、保護を受給していた世帯員すべてを記載してください。申出日時点で死亡している世帯員については「死亡」欄に○をしてください)

(フリガナ) 氏名	世帯主 との続柄	生年月日	生活保護受給期間 【年 月 日】	死亡 【申出日 時点】
	世帯主 本人	年 月 日	～	
		年 月 日	～	
		年 月 日	～	
		年 月 日	～	
		年 月 日	～	
		年 月 日	～	
		年 月 日	～	
		年 月 日	～	
		年 月 日	～	
		年 月 日	～	

- ①受給していた当時の世帯員全員を記入してください。
②時期が不明な場合はおおまかな時期を記入してください。
③死亡されている方については右端欄に○を記入してください。

※ 本申出は、申出先の自治体で保護を受給されていた期間の世帯主が受けるものとなります。世帯主が現在死亡している場合は、留意事項の※2を参照してください。
※ 申出先の自治体で保護を受給されていた期間について、記入してください。
(他の自治体で保護を受給されていた期間がある場合は、別途その自治体へ申出が必要となります。また、申出先の自治体で複数回保護を受給されている場合は、それぞれの期間ごとに申出が必要です。)
※ 「生活保護受給期間」について、大学就学等により、世帯分離となっている期間を除いてください。 | 次ページへ続く

「2.保護を受給していた当時の居所」～「4.申出者以外の世帯員の連絡先」の記入方法

2. 保護を受給していた当時の居所（選択肢をチェックしてください。）

申出先の自治体で保護を受給されていた期間の居所が、

- ☐ 現住所と同じ
- ☐ 現住所と異なる（異なる場合は以下の「当時の居所」及び「期間」を記載願います。）

※複数の居所がある場合は、追加で記載願います。

① 当時の居所：宇城市

期 間： 年 月 日 ～ 年 月 日

② 当時の居所：宇城市

期 間： 年 月 日 ～ 年 月 日

※ 居所には、当時住んでいた場所を記載ください。

※ 当時の居所を記載できない場合は、当時の住所の履歴を確認するため、戸籍の附票の写し（謄本）を添付してください。

3. 振込口座

以下の記入に加え、これらの口座情報が確認できる通帳等の写しを添付してください。

（フリガナ） 口座名義	金融機関名	支店名	口座種別 【普通/当座】	口座番号

※ 振込口座の名義は、申出者本人名義のものに限りします。

4. 申出者以外の世帯員の連絡先（複数人世帯の場合）

複数人世帯の場合は、申出者へ連絡がつかないときの連絡先（他の世帯員）を記載してください。申出内容の確認等のため、必要に応じてご連絡することがあります。

他の世帯員の氏名

電話番号（携帯または自宅） - -

申出書の記載内容は以上となります。

保護を受給していた当時の居所について該当する項目に☑してください

※複数の居所がある場合

当時の居所の期間を記入してください。分かる範囲で構いません。

受け取りを希望する口座情報を記入してください。

・申出者本人の名義を記入してください。

複数人世帯の場合、申出者以外の世帯員の名前、連絡先を記入してください。

同意書の記入方法

同 意 書

平成 25 年生活扶助基準改定に関する最高裁判決を踏まえた保護費の追加給付の決定のために必要があるときは、私及び私の世帯員（以下「私等」という。）の保護の受給状況を確認するため、食福祉事務所が官公署、日本年金機構等（以下「官公署等」という。）に対し、必要な書類の閲覧若しくは資料の提供を求めることに同意します。

また、食福祉事務所の調査又は報告要求に対し、官公署等が報告することについて、私等が同意している旨を官公署等に伝えて構いません。

年 月 日

住所

氏名

記入日、本人住所、氏名を記入してください。